



起きてください

かわいそうで可愛らしい
私のご主人様



んん

お……く……い



ん……じ……ちま

だれ……だ？



——っ!?
こっ、これは!?

シラ!!
一体何のつもりだ!?



——う……シラ……?
なにが……?

落ち着いてください
ご主人さま

お、おい！

実はご主人さまに
SKAN-SENの適性があると
判ったのです

そ、そんな
馬鹿な

嘘ではございません
素晴らしいことです
可愛らしいご主人さまが
より可愛らしくなるなんて――

カチカチ
ゴソゴソ

……ですが…

もしご主人さまが
ほかのSKAN-SENに
なってしまったら…？

ですので…

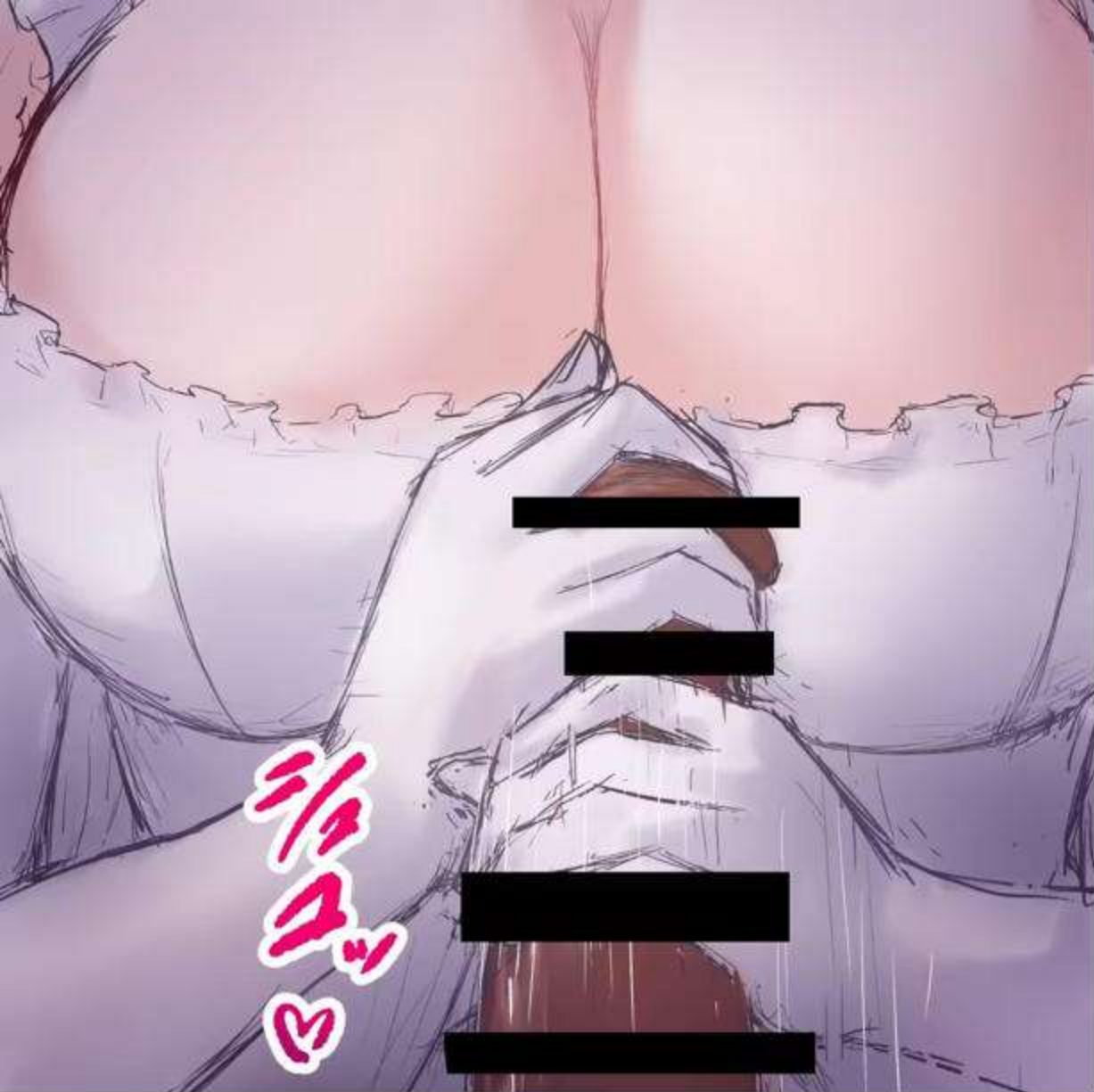
グイ

ご主人さまには

シラになって
頂きたいのです

なっ!!

ズッ



冗談はやめろ！

はやくこれを
解いてくれ！



コレはもう
ご主人さまには
不要です

全て出し切っ
てしまいましょ





はあ!!

はあ!!

はあ!!

カッ

あ...れ...?
小さくなった...

まさか...
本当だ!!

はあ!!
はあ!!

なん...だ...今のは!!

何が...

っ!?

ふふ、
たくさん出ましたね
ご主人さま

シラが
ゼーんぶ絞りだして
ちゃんと女の子に
してあげますね?

でもまだまだ
いっぱい残ってます

ま...まで...

ご主人さま♡

や...やめ...!





あーっ
ちゅぽん

ふはっ



あーっ
めく

んん



ドドドド



ふふふ、これで
全部なくなっ
てしまいま
したね？

「男」
ご主人さまの



とっても可愛らしい
お姿になりましたよ？
ご主人さま

いっ

はー

あーっ
お



ご主人さま♡

メイドとして
ふさわしいお姿に

あーっ

それから、
シラが身成を
繕ってさしあげます



さあ、私たち二人とも
すっかり汚れてしまいま
した
まずは体を清めましょ

うう……



よくお似合いですよ
ご主人さま
ふふ、私よりも胸が
おおきいなんて
流石御主人さまです

あら、先ほど綺麗に
したばかりなのに
もうこんなに濡らして



ち、ちがつ…!!
これは…!!

ビュッビュッ

なんと厭らしい。
ご安心ください
すぐにシラが
気持ちよくして
差し上げます♡



スツ

ヌクヌク♡

やっ…!!
まっ…!!

では次は
女の悦びを教えて
さしあげます



ビュッ

これを使って…♡
—っ!!



なに…これ…?
私のよりも…

はぁ…

はぁ…

ずっと…っ!!



ボッ

えいっ

きやつ!!



あやめ♡

やめてっ!!
そんなのいやっ!!



だめですよ?
嫌がっては

んん♡



あが♡
あが♡
あが♡



もう貴女はご主人さまでは
なくなるのですから

あが♡
あが♡
あが♡

今度からはシラが



あが♡
あが♡
あが♡

わたしが
あなたの
ご主人様
なのですから

だめ♡
あが♡
あが♡



あが♡
あが♡
あが♡

